

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年6月22日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	甲斐市	代表者名	保坂 武
担当者部署	総務部 スマートプロジェクト推進課 スマートシステム推進係	連絡先電話番号	055-267-7257
担当者役職	副主幹	担当者氏名	丸山剛
住所	400-0192 山梨県甲斐市篠原2610		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉田 孝志
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	市内の公共施設におけるイントラネットの配線状況 (余剰芯) や携帯キャリアが建てた市内各地のアンテナ施設を見て回り、回線の構成や電波環境等について詳しく説明していただくことで、本市全体の携帯電話、インターネット回線における受信状況を正確かつ論理的に理解することができた。また、観光施設や主要施策に係る要所も見て回り、本市におけるローカル5Gにおける具体的な活用方法も指導していただいた。
アドバイザーへの要望事項	1日目のWEB会議、2日目の視察を踏まえ、本市全体の携帯電話・インターネット回線における受信状況から見出せる具体的な提案をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年5月31日	支援・助言(実地)	有	令和4年5月31日	24
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和4年6月15日	支援・助言 (実地)	9時00分	17時00分	60
				活動時間 (分)	420
3-2. 派遣場所	会場名	甲斐市役所本館3階庁議室	最寄駅	竜王駅	
	所在地	山梨県甲斐市篠原2610番地	最寄駅からの交通手段	徒歩 (15分)、タクシー (5分)	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	甲斐市役所職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	・光ファイバー等の情報通信網が行き届いていない地域が北部にあるため、情報インフラ未整備地域の解消及び有効な利活用につなげられるかが課題となっている。 ・企業・自治体のテレワークやGIGAスクール構想におけるオンライン授業が必須となる中で、地方都市において低価格かつ高速で通信できるWi-Fi等の情報インフラが必要であると事業者から提案を受けているが、整備した施設を持続的かつ効果的な利活用につなげられるかが課題となっている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・情報インフラ未整備地域の解消につなげる整備手法を見出し、また整備したインフラの有効な利活用の手段を得ること。 ・本市の特色・目的に応じた持続的・効果的な利活用につなげる情報インフラ整備の手法を見出すこと。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	市内の公共施設、主要施策の要所、観光施設、北部地域を視察し、イントラネット (余剰芯) の整備状況や携帯電話・光回線による受信状況等の確認・説明をいただいた。また視察を交えながら、ローカル5Gの活用方法についても指導いただいた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	北部地域におけるインターネット・携帯電話の受信状況について、支援をいただく前までは、住民からの要望や自身の先入観により「電波は届かない地域」と漠然とした認識だったが、発信元となるアンテナ・電柱等の設備を見て回り、受信の有無に係る根拠等も示していただくことで、携帯電話・インターネット回線における受信状況を正確かつ論理的に理解することができた。また、観光施設や主要施策の要所において、ローカル5Gの具体的な活用方法についても言及していただき、その実効性・優位性を知り、地域活性化の醸成につなげる手法を具体的に学ぶことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	アドバイザー支援制度の途中段階であるが、情報インフラ未整備地域の解消につなげる具体的な整備の方向性が見えてきている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 現在のところ、アンケートを必要とする事業内容ではない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	デジタルの恩恵を市民が等しく享受できる環境を構築し、当該環境を観光対策や災害時等を視野に、持続的、効果的に利活用できる事業(仕組み)につなげていく。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



